

西教寺報

第94号
 仏歴2547 (2003・平成15)年
 12月10日発行
 呉市中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL.0823 (21) 2798
 FAX.0823 (21) 2795
 郵便振替番号
 01340-3-29117

紙面

「続・自是他非の恐ろしさ」
 ……岩崎正衛(住職) <1>
 聞こえにくい方、お試し下さい…(1)
 お知らせ(折出笹美さん)…(2)
 白道会大会…(3)
 本堂修復・調査進む…(4)
 夏休み子ども大会…(5)
 ご案内「報恩講仏の子の集い」…(6)
 乙井雪雄さん…(7)

敬悼録…(7)
 第二回「弘法真宗カウンスリング学習会」…(7)
 ご案内「前任住職釋俊雄十三回忌」…(8)
 ティータイム「おぼれ話」…(8)
 俳句「秋涼」…(8)
 誓子の日記「岩崎誓子」…(8)
 誓子の絵を寄付(古江さん)…(9)
 天女の絵を寄付(古江さん)…(9)
 お礼・お詫びと訂正…(9)
 西教寺法座と例会のご案内…(10)



去る八月二十四日、小川一乗(大谷大学学長)先生をお迎えして白道会大会公開講演会が行われました(関連記事は三頁)

続・自是他非の恐ろしさ

岩崎 正衛(住職)

人間にとって一番ひどい病気はなんでしょうか？ある人は「それは癌(がん)です」と答え、ある人は「それはエイズでしょう」と答えました。

今年の九月五日はマザーテレサさんが亡くなって、仏教的に言うて七回(かい)会(え)でした(一九九七年九月五日昇天)。彼女はこう言っています。「人間にとって一番ひどい病気は、誰からも必要とされていないと感じることです」と。

いやすがに恵まれない人々の中にはいり込んで、沢山の人のいのちの手助けをした人の実感から出た言葉だと思えます。筆者も五年ほど前、インドの仏(ぶつ)蹟(せき)を巡(めぐ)りました(巡拝(じゆんぱい)しました)が、その時カルカッタのマザーテレサさんが経営していた病院の一つを見学しました。朝、ホテルの窓からカーテンを開いて外を見ると、道路脇の商店の前に大勢(おほぜい)の大人や子どもが寝(ね)ているのです。聞けば朝商店が開くとどこか

「こりやあよう聞こえる！ええ補聴器(ほちようき)ですのう。どこで買われませんか？」と皆さんに好評(こうぱう)のこの機械(きがい)、実は補聴器(ほちようき)ではありません。アナウンスシステムといって、マイクの音(ね)だけを大きくする機械(きがい)です。ですから雑音(ざつおん)は一切(いっぺい)ありません。長(なが)ノ木(きの)本坊(ほんぼう)・蔵本通支坊(ぞうほんつうしぼう)・三津田支坊(みつたしぼう)、いずれの法座(ほっざ)でもご利用(ごりよう)になれます。一度お試(こ)しください。



雑音がないと大好評

へ散(ち)っていき、夕方(ゆふがた)商店(しょうてん)が閉(と)まると、また帰(かえ)って来て路上(じやうじやう)に寝(ね)るのだそうです。中国(ちゆうごく)でも路上(じやうじやう)生活(せいかつ)者(しや)を見(み)ましたが、それ(それ)でも彼等(かれら)は段(かた)ボール箱(ぼーるばな)で壁(かべ)を作(つく)って家(い)のようなものの中(なか)に住(す)んでい

るが、インドの彼等(かれら)は暑い(あつい)せいでもあるのか、それ(それ)さえもないのです。そんな生活(せいかつ)でもまだ元氣(げんき)で動(うご)ける時はよいでしょう。病氣(びやうき)になつて動(うご)けなくなつたらアウトです。だれ

聞こえにくい方、お試し下さい。